

平成 24 年度 第 4 回研修会の記録

平成 2 4 年 9 月 3 0 日 実施

テ ー マ	都市における外構植栽に発生する害虫被害の実状と対策	参 加 者	23 名 (内他支部 3 名)
講 師 ・ 案 内	皆方訓久 樹木医	場 所	東京都港区
資 料 等	研修用レジメ	記 録	皆方訓久
目 的	都市に植栽された樹木に発生する害虫の駆除対策の実情を見学し、生物多様性に配慮した害虫対策を考える。		
見学箇所	愛宕グリーンヒルズ、アーヒルズ、六本木ヒルズの外構植栽		
行 程	愛宕グリーンヒルズ 見学 (9:30~11:00) → アークヒルズ 見学 (11:30~12:00) → 昼食 → 六本木ヒルズ 見学 (13:30~15:00) → 解散 (15:30)	 <p style="text-align: center;">位置図</p>	
見学内容	<p>■ 愛宕グリーンヒルズの害虫駆除対策</p> <p>サクラに発生するモンクロシャチホコ対策として、忌避剤(ニームオイル)や残効性農薬(スティンガー)を用いたモンクロシャチホコ対策を施し、その効果の検証を続けている。</p> <p>■ アークヒルズの害虫駆除対策</p> <p>サクラ並木に発生するモンクロシャチホコ対策として、浸透移行性農薬(オルトランカプセル)を幹に打ち込んで施用し効果を検証中である。しかし、この方法は毎年繰り返して施工するには適当でないことから改善策等について参加者間で意見交換を行った。</p> <p>■ 本木ヒルズの害虫駆除対策</p> <p>ケヤキの樹冠の葉が白く枯れたようになるほどニレハムシが大量発生しているが、駐車車両や通行者に配慮して薬剤の樹上散布が困難な状況なため、浸透移行性農薬(オルトラン粒剤)と忌避剤(ニームパウダー)を株元に散布して効果を検証中である。</p> <p>数年前まで、六本木ヒルズ内の造園樹木全般にコガネムシ類の食害痕が多発し、著しく景観を乱していた。コガネムシ類(アオドウガネ)対策として、六本木ヒルズ内全域の造園樹木に所謂化学農薬の樹上散布を行い、成虫の一斉駆除することを2年間繰り返した後に、花壇などを中心にアオドウガネのライフサイクルに合わせて天敵線虫を散布することで顕著な食害はみられなくなった。</p>		
	  		